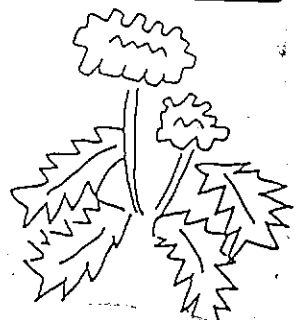


NO 191
 H15年5月1日
 -発行-
 〒869-1217
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



平成十五年度事業計画

施設長 松田 健

A. 短期入所

短期入所の事業所指定を受け、ますますその責任が増大しました。自閉症を中心とした入所施設としては全国一の規模を誇っているため、すべてを受け入れることが難しい時期などがあります。入所している利用者

を優先的に考えるからです。断られた方は良く思われません。利用したいときに利用できることが短期入所事業の最大のメリットだからです。少しくでも役立ちたいと思つてスタートした事業も逆に期待を裏切ることになっていきます。平日の利用より土、日をレスパイトサービスと考へ、利用される方への理解と周知を図るなどの対策を立てる必要があると思

B. グループホーム

入・通所利用者の療育にも還元できます。利用者によつて育てられ、利用者によつて食べさせてもらっているとの意識を強く持ちたいと思つています。

利用者の平均在所期間がついに十年を越えました。十五年以上在所の方も三十一名となりました。因に平均年齢は三十二歳となりました。親御さんも高齢となり、病気になる方も増えていきます。いろんなことを考へます。一つの選択としてグループホームを建てたいと思つていますが本当にいいのだからかと引き戻される感覚に陥ることがあります。グループホームに肯定的な家族も失敗した場合

がない限り請け負うべきではありません。しかし、利用者の日々の表情、職員のグループホームなどの夢を語るときの輝いた瞳をみると、リスクは承知のうえでも、どうしてもグループホームを実現したいと考えようになりました。土地の取得一つにしても多くの方のご協力とご理解が必要でした。感謝しています。今後はグループホーム準備委員会を発足させ、多くの方の意見を拝聴したいと思つていきます。ようやく動き出した事業です。十月開所を目指して全職員が一丸となつて取り組んでいきたいと思つ

す。命名 グループホーム「新(あらた)」

C. さんサン工房

施設外実習に行くときの生き生きとした表情を知っていますか。それだけ施設がつまらないということだろうかと思つて悲しくなりますが、私

たちはもっと真剣に考えていくべきことが多いように思っています。外作業場は一つのステップに過ぎません。企業が作業場を提供してくれたなら、自前の作業所を作る、パン工房を作る、福祉工場まで発展できたなら、グループホームで生活し作業所に通う、考えてみただけでも楽しくなります。そうした経緯から昨年度9月に「さんサン工房」がスタートしました。六名の利用者が通い、大きく成長した人もいます。十五年度は、九名の通うこととなります。一層の発展を期待しています。

D. 作業そして仕事

毎日が発見の連続です。通所部がラインを組んで作業をしています。流れ作業をし、最後に完成するというやり方です。自閉症の先進施設で実習した時、ラインを組んで三気の里よりも重度の方が能率よく働いている姿を見て感心したのを覚えています。重度だからやり方次第であり、重度だからこれくらいいいというのとは差別的発想であるという考えはできませんでした。同じ作業を

あたることは財産です。必ず

あたることは財産です。必ず

あたることは財産です。必ず

あたることは財産です。必ず

あたることは財産です。必ず

あたることは財産です。必ず

同じポジションで何年もさせて、この人は変更が苦手なので変更させない方がいいとさも全てを知り尽くしたような考えにとらわれていたように思えます。そのくせ自分は同じ作業に飽き飽きしており、おもしろいと感じることさえなくなっていました。日々適材適所となるように配置転換を行うこともできないような固定的な概念に支配されていました。通所部のやりかたを見習うべきです。多くのヒントがあります。自己の発想の転換を迫られることが多く介在しています。仕事をしているという自覚がもてます。職員は、他の施設へ実習に行く前にまずは非とも通所部での実習・見学を行ってください。

昨年書いたことですが一部の職員だけの了解事項となっていて、同じ文を載せません。「安い作業ばかりさせては駄目、利用者のステータスを上げるためにも高い作業を見つけてくるも職員の仕事。」スパーバイザーである片倉先生の教えです。生産性がないこと

をすべき人達ではありません。

開園記念祭での企業協賛を求めめるための営業も仕事の一つであり、必ずつながっていきま

E. 自活訓練棟「一(はじめ)」

自活訓練をするために瀬田に平屋を借りました。利用者として1対1、1対2で寝泊まりをしながら、施設内ではできないような経験を積み重ねていければと思います。地域へのはじめの一步を踏み出します。

(紙面の関係上、後文のF、Sについては省略させていただきます。)



地域支援科

榎本 英也

ゴールデンウィークがもう間近となり、何をしようかと思案されている今日この頃だと思えますが、皆様がいかがお過ごしでしょうか。

さて今年度は、地域交流支援科から地域支援科に呼称が変更になりました。活動としては、昨年度同様、地域の方々と交流を深める事、協力・支援を行っていく事と共に新たに障害についての認識を深めてもらうような活動を行っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

まず最初の活動として4月19日(土)と20日(日)に大津町昭和園でつつじ祭りが開催されます。三気の里も(20日ですが)作業製品(木工製品など)・飲食(焼き鳥、ジュース)の販売を致します。利用者、スタッフが笑顔で応対しますので是非お立ち寄りください。(焼き鳥は、安くておいしいですよ!)

また、短期入所(ショートステイ・デイステイ)の受け入れも随時行っていますので必要な方はご

連絡ください。今年も一年よろしくお願い致します。

後援会ありがとう

- 下田 麻里・白石 美穂
- 榎木 徹・田中 孝雄
- 佐伯 恵子・小樋 康晴
- 山下 広幸・浦中 公明
- 田中 英雄・吉田 憲司
- 森崎 遼・長谷川直美
- 吉竹みさ子

敬称略

後援会募集のご案内

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。

振り込み先
口座番号・郵便振替
01970・8・14902
社会福祉法人 三気の会後援会
保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所

熊本県菊池郡大津町森54・2
一口 3千円
団体は、1万円より

『脱・異空間』

伊豆野 良栄

一昨年、満七年間勤めた「三気の家」から「三気の里」へ移動してきました。当初から、三気の里には独特な生活空間を感じていました。独特な生活空間を醸し出している要因の一つに、「鍵」があります。他にも「水道の蛇口がついていない事」や「トイレットペーパーがない事」等、それらは全て日常業務（普段の生活）を行う上においても、とても「不便さ」を感じるものです。「鍵」について少しだけ私のエピソードを書きます。

疑問が湧いてきました。

三気の里の建物の中には、居室の鍵はないものの、玄関を含め、十数か所の鍵があります。本当に必要な鍵なのか？余りに日常的な事で当たり前に行っているスタッフの行動に「不自然」ながらも「常識」みたいなものを感じました。その理由には、「利用者の無断外出」「利用者への不適応行動（物を持ちだす、落書きをする、破く、食べらる）」「無断乱用」等々、理由は豊富にあり、いずれも「利用者側」に問題がありました。

ある日、私は「鍵」を忘れました。職員室のトイレに行こうとした時、建物の中に入れない、途中にあるドアが開けられない、職員室のドアが開けられない…と、いちいちスタッフにお願いし、鍵の開閉をして貰いました。移動の際にも、鍵で開けて、また閉める。なぜ、鍵をつけているのか？鍵を忘れた私が悪いのか？掛けざるを得ない利用者達（障害）だから仕方ないのか？鍵をしながらいき来する度に

にも、生活感溢れる空間・雰囲気

にしていききたい」という原点に戻り『普通の生活空間』に目を向け、取り組む事を開始しました。そこで①「水道の蛇口をつけておく」②「家庭と同じトイレットペーパーをつける」③「鍵を最小限にしたい」という三つの目標を立ててみました。しかし、いざ目標に向かって取り組もうとしても、日常化してしまつたスタッフ側の意識の弱さに問題があり、早急に普通の感覚を取り戻す事が先決だと感じました。「スタッフが本当に危機感として感じているのか？」「スタッフの技術に欠けているのは何か？」等々。現在、この取り組み（目標）を実行するための前段階として、一班组と（二十数人）の集団を

80人も大人の大人と一緒に共同生活をすることを、普通の暮らしではない事。しかし、そのような生活環境の中であっても、スタッフの気持ちの持ち方一つ（普通の感覚を忘れない事、普通と違う部分に気付ける事）で、生活空間は変わってくる事を学びました。私自身も、半年〜一年と経過していく中で、慣れていっている感覚があります。とても危険な事です。「独特の異空間ではなく、大集団の中

充実した生活が送れるようになっていければと思っています。

今後の療育雑記では、この目標を達成する為に必要なことについて一つずつテーマを上げ、掲載していこうと思います。



本長皆生皆自業中

四月から新しく四名のパートさんが厨房で働いています。利用者の方はパートさんが気になるのか、恥ずかしそうに声を掛けてきます。特に、福嶋さんは二十代のパートさんにも「おばちゃん」と言つて話しかけてくるのでパートさんも困惑気味です。（笑）

一方で、今年度からの支援費制度に伴い、より良いサービス向上を考えて利用者の方に喜んで頂ける食事作りを頑張りたいと思います。

何か要望がありましたら厨房までよろしく願います。

恵良

班にゆーす

3 班 ・ 一歩一歩

新メンバーで迎えた今年の3班は、以前の4班(農耕班)と5班(園芸班)が合わさった農園芸班です。全員で24名ですが、その内の5名が作業所(さんサン工房)へ出勤しています。今回はその中の1人である由美さんを皆さんに紹介したいと思います。

今年から作業所の新しいメンバーに加わった由美さん。昨年までは園芸班で、毎日の作業スケジュールを自分で立て頑張ってきました。作業所出勤1日目。今まで普通に話していたスタッフに今日から敬語を使わなくてはならなくなりました。しかし、敬語を使うよう言われ、急に変える事ができず号泣してしまいます。緊張や戸惑いもあったのだと思います。後日、本人と話をし、作業所へ通っている意味と将来どうしたいのかを考えてもらいました。まだ漠然としていて掴めないようでしたが、夢や希望を持って作業所へ行ってほしいことを伝えると、なんとなくですが納得してくれたようでした。それから2週間。まだ注意を受けることはたくさんありますが、一歩一歩着実に成長していつてい由美さん！働いてお金を稼ぐことは本当に大変だけど、さんサン工房をステップに次へ進めるよう一緒に頑張りましょうね。

大石

2 班 ・ スタート

4月より班体制が変更になり、新しい2班になりました。メンバーが22名と多くなり、スタッフも7名で29名のチームで作業を行っています。場所は以前まで3班、4班が使っていた作業棟をつなげ、一つにして2班の作業棟になっています。作業内容はネット作業を行っていますが、これから他の仕事も取り入れ二種類の仕事を行っていきたくとも考えています。今までネット作業を行ってきた方、初めてネットを触る方がいますが、少しずつ慣れ、訓練し、上達させていきたいと思っています。作業棟移動時、食事移動時等、班で移動するようになり、始めは利用者の方が勝手に移動しようとしたり、一人二人に時間がかかり全体が遅れる事もありましたが、徐々に集団で行動することに一人ひとりが意識するようになり、2班のメンバーは一つのチームとしてまとまりつつあります。これからの2班を応援して下さい。

両角

1 班 ・ 新1班！

桜の花も散り、いつしか葉桜の季節を迎えようとしています。皆様いかがお過ごしでしょうか？新年度がスタートし気合い！十分のことと思います。新しい1班は利用者23名、スタッフ7名です。今年度から班ごとの集団で行動をするようになりました。この集団行動が始まってみんなの意識は変わってきました！特に食事の場面ではみんながそろって「いただきます！」そして、みんなが食べ終わるまで待つ、一緒に「ご馳走さま！」食事中に離席が多かった人も今ではほとんど無くなり、食べ終わるとすぐに食堂を出て行く人も最後まで待つことが出来るようになりました。今まではあつという間に食べていた人もゆっくりと時間をかけて食べるようになりました。今までバラバラだったものが団結したように感じます。やっぱり食事は一緒にゆっくり楽しく食べたいものですね。この成果を今度の初のレクリエーションで発揮しましょう♪

桑野



新生・4班誕生!!

4月、新しい年度を迎えるこの季節、すがすがしい気分です。「4班」といえば「農耕班」というイメージですが、新しい4班は旧6班のメンバーを中心に、健康に配慮が必要なメンバーが集まりました。作業はもちろん農耕ではなく「紙すき」、そして「下請けの作業」にも取り組んでいます。昨年度までは午前は洗濯物仕分け、午後が紙すきで手すきハガキの生産量が中々上げられなかったのですが、今年度は午前も午後でも紙すきが出来るようになり、どんなハガキを作ろうか、何処へ売りに行こうかと、夢が広がっています。

さて、4班のメンバー紹介をします。旧6班からのメンバーは、幸男さん、行夫さん、正利さん、民子さん、美智子さん、美緒さん、忠夫さん、ゆかりさん、晃子さんの9名、これまでの紙すきの経験を生かして、4班の作業をリードします。これに加わったのが、幸恵さん、昭子さん、明るい笑顔がすてきな二人です。幸恵さんは早速紙すきにも挑戦、新しい下請けの作業もノルマを楽々クリアととっても頑張っています。昭子さんは作業はもちろんの事、返事をしたり、体を上手に動かしたりする練習、そして毎日の散歩を欠かさずやっています。年齢層も広く、個性も強いみんなが今頑張っている事は、「和・輪…みんなで協力する事」それぞれが持てる力を出し合って助け合ったり、待ってあげたり、人に合わせたり、ととってもあったかい雰囲気です。この雰囲気を大切にしながら、1年間病気をせず頑張っていきます。

大賀

通所部・「旧年度から新年度へ」

三月末のギリギリまで、慌ただしい通所部でした。シュリンク機を流れて、製品として出来上がってくる工程は、一見工場のようなものでした。通所部のメンバーだけでなく、入所の方の希望を募り、沢山の利用者が集まってきてくれました。始まりがあって、終わりが目に見えるこの作業は、仲間達にとっても、楽しい作業だったようです。三月の最終日、通所で一緒に仕事を頑張ってくれた仲間達を招いて『お疲れ様パーティ』を催しました。準備されたおやつを食べながら、皆のカラオケ披露。沢山の仲間達の歌声と笑い声に包まれたパーティは、あっという間に過ぎていきました。そして、仲間達全員に渡した「修了証」と「給料」。受け取る仲間達のキラッとした表情は、本当に誇らしげでした。しっかり給料を握り締めている仲間も、修了証に書かれた文を読んでいる仲間も、それぞれの思いで一年間を振り返っているようでした。

そして、今年度。新しい作業所に移り、新しい職員・仲間を招き入れてのスタートとなりました。作業内容も変更になり、全く違った環境での始まりでしたが、すぐに慣れることができています。これらも全て皆の一年間の成長だと思っています。

これから一年間、また皆と一緒に色々な事に挑戦し、仲間達と共に成長していきたいと思えます。

岩田

さんサン工房・新メンバー

4月より、森川さん、楢木さん、坂本さん、伊石さんの4名が新しくメンバーに加わり、メンバー9名スタッフ3名の12名で新年度がスタートしました。最初は「今日は作業に行くんですか?」「明日行くんですか?」と尋ねた方もいましたが、それも2度程で現在は、みなさん就労時間に間に合うように毎日元気に歩いて出勤されています。仕事の方は、月～金まで土日は基本的にお休みです。朝9時すぎには「いってきます。」と出発し、4時には仕事を終え「ただいまー」と帰ってくる。皆さん生き生きとしています。現在、週2回(火、木)玉名まで完成品の納品へ行っています。スタッフの方も施設の外へ行くというのは、多少の緊張感もありますが、さんサン工房の製品は、不良品も少ないという事で評価も高く自信を持って納品する事が出来ています。今後の課題としては、企業の開拓(実習も含め)作業所推進(自家製品の開発等)にも取り組んで行きたいと考えています。

中牟田



5月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日	備考
			1	2	3	4	春季帰宅 訓練期間 (4/26-5/5)
				富田さんの 誕生日 (58)		井口さんの 誕生日 (32)	
5	6	7	8	9	10	11	
石崎さん(35)と 憲吾さん(26)の 誕生日			荒毛さん(45)と 前田さん(31)の 誕生日	有馬さんの 誕生日 (37)			
12	13	14	15	16	17	18	
松島さんの 誕生日 (64)			誕生会		グループホーム準備 委員会、家族会 スペシャル駅伝		
19	20	21	22	23	24	25	
		橋村さん(33)と 龍也さん(30)の 誕生日					
26	27	28	29	30	31		

実習・ボランティア通信

早春の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、これを読んで下さっている皆さん、実習やボランティアに関して“こんな事をしたいほしい”“こんな事をしてみたい”など、意見・アイデアをお持ちでしたら、ぜひぜひホームページを開き、メールして下さい。貴重なご意見お待ちしております。又、まだ三気の里にいらつしやったことのない方も一度足を運んでみませんか？利用者・スタッフ一同、お待ちしております。

平山

(ボランティアありがとうございます)

*生け花 西村 栄子

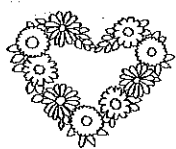
*ブラッシング指導

前淵 隆子

*ピアノ演奏 井川 マリ子

敬称略

新任者紹介



●湖東カレッジ専門学校を卒業し四月より三気の里で働く事になりました。山部裕輝と申します。若さを生かし、元氣一杯頑張ります。宜しくお願いします。

●玉名市の九州看護福祉大学を卒業し、4月1日よりスタッフとして働いています。松本一成です。向上心をモットーにして頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。



●熊本学園大学を卒業して4月から働く事になりました。末松恵美です。がんばっていききたいと思いますので、宜しくお願いします。



●はじめまして松本慎太郎です。これから利用者の皆さんと共に、楽しく元気に生活したいと思えます。まだまだ未熟ですが、どうぞ宜しくお願いします。



●こんにちは、藤本身知子です。三気の里に来てとても嬉しく思っています。頑張りますのでよろしくお願い致します。



アドレス

URL <http://www7.ocn.ne.jp/~sanki>

E-mail sanki@siren.ocn.ne.jp